

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。  
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0/A ¥ 1 8 9 0/B ¥ 2 0 9 0/C ¥ 2 2 5 0/D ¥ 2 4 9 0}  
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

[www.tambourine-japan.com](http://www.tambourine-japan.com) email: [song@tambourine-japan.com](mailto:song@tambourine-japan.com)

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

[リイシュー/Historic Recording] はP4より

#### [DVD/GUITAR] PAL 方式

- \*SOIG SIBERIL:La Guitare Celtique ¥2780  
(PAL 方式 DVD の二枚組。ブルターニュを代表するケルティック・ギタリスト、Soig Siberil のケルティック・ギターの教則 DVD と Soig のギターの魅力をゲストを迎えた共演ライブ等多角的に紹介するライブ & ドキュメンタリー-DVD。Soig のギターの特徴と素晴らしさがつぶさにわかる。Coop Breizh)

#### [DVD/GUITAR]

※国内製 DVD プレーヤーで再生可能

- \*MICHAEL MESSER:Guitar Maestros Series 1 D  
(音質画像選曲全てが素晴らしいスライド・ブルース・ギター奏者 M. Messer のギター弾き語りライブ映像。"Main Feature"は Trevor Dann を話し相手に "Can't Be Satisfied" や "Walking Blues" など 8 曲を奏法に焦点を当てて演唱。"Additional Track"は完全ライブで "Rolling & Tumbling" や "The Lone Wolf" など 7 曲をクローズアップで演唱する。約 95 分。2006 作。Sound Technics)
- \*STEVE TILSTON:Guitar Maestros Series 1 D  
(音質画像選曲全てが素晴らしい S. Tilston のギター弾き語りライブ映像。鮮やかなフラットピッキング・ギターの伴奏による弾き語り "Here Comes The Nights" から SSW の Steve の弾き語りの世界に吸い込まれる。"Main Feature" の 8 曲、"Additional Track" の 8 曲の計 16 曲のパフォーマンスがスームアップで楽しめる。2006 作。Sound Technics)
- \*GORDON GILTRAP:Guitar Maestros Series 1 D  
(美麗アコースティック・ギターの G. Giltrap。"Main Feature"では 8 曲をインデュを挟みながら、Gordon の音楽の歩みを辿るようにアコースティック・ギターとダブルアコースティック・ギターを神業的名演奏を披露する。"Additional Track"には神業的名演奏が 9 曲 {こんな美しい "Here Comes The Sun" は聴いたことがない!} 収録。加えてエレキ・ギター演奏のワークショップのおまけ付き。ギター・ファン極楽保証。片面 NTSC でもう片面が PAL。2006 作。Sound Technics)
- \*THE FOUR MARTINS:Guitar Nights ¥2980  
(CD "Martins4" の DVD 版。Martin Carthy, Martin Simpson, Martin Taylor, Juan Martin のそれぞれが個性的ギタリスト達によるコンサート・ライブ。CD と同じ曲目で曲順の全 12 曲に 4 人のインデュ、Martin Taylor のギター・レッスン他。2003 作。P3 Music/ディスクの表が PAL all regions で裏が NTSC all regions)

(ギター・レッスン・ビデオ) NTSC

※国内製プレーヤーで再生可能

- \*TONY McMANUS:Celtic Fingerstyle Guitar Vol.2 D  
(John Renbournが「Tony McManus is the best Celtic guitarist in the world」と言った今最高のケルティック・ギタリストT. McManusによるギター・レッスン・ビデオ。Vol. 1は94分。P40のタブ付楽譜付。Vol. 2は68分。P32のタブ付楽譜付。2000作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- \*DAVE VAN RONK:Folk, Blues&Ragtime D  
(93作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- \*STEFAN GROSSMAN:Hot Fingerpicking Guitar Solos D  
(93作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- \*JOHN REID:Traditional Irish Fiddle Tunes For The Fingerpicking Guitarist(Texas Music and Video) D

### [CD/GUITAR, BOUZOUKI 他]

- \*IAN CARMICHAEL:Ten Years On C  
(天才的アイリッシュ・バンジュー。Ian Carmichaelの演奏は職人芸的で、アイリッシュとスコティッシュと米国のオールドタイム・ミュージックの伝統的なリズムの特徴を追求・深化させることで、それぞれの音楽に新たな生命力と魅力とを生み出すことに成功している。バンジューの自由自在に弾ける音色と時折スライドして伸びる音色が新鮮で面白い。2015作。Splitrock Music)
- \*SOIG SIBERIL:30 Ans De Scene D  
(ブルターニュのケルティック・ギタリストで、Kornog, GwerzのメンバーのSoig Siberilの2枚組編集CD。1993年から2012年までのソロやデュエットやグループの演奏が全29曲。ブルターニュのダンス音楽を独自のケルティックなギター音楽で演奏し、ブルターニュのトラッドの世界に新風を吹き込んだ。Tony McManus, Pierre Bensusanファン必聴。2013作。Coop Breizh)
- \*RALF ILLENBERGER:Red Rock Journeys C  
(アリゾナの「Red Rock」の山々の風景から生まれたギター音楽。彼のギターは妖精が踊るように？軽やか。ともするとこの手の音楽は過度に悠長になりがちだが、Ralfの演奏は細部に集中するようなリズム的な演奏で、曲が緻密で締まっている。ドラマティックな曲の展開はない。むしろ快いリズムの流れがキラキラと流れる印象なのだが、雲の流れや風の流れや風景の変化のようにも聞こえる。2011作。Stockfisch)
- \*ULLI BOGERSHAUSEN:Vinyl 81-86 B  
(Ulli Bogershausenなるギター奏者の81、82、84、86年の4枚のアルバムからの20曲入りマスター編集CD。研ぎ澄まされた感性に裏打ちされた自作曲の一曲一曲はまた詩情豊かでもある。2007作。Laika)
- \*DARREN MALONEY:Complicated A  
(このアイリッシュ・バンジュー奏者のD. Maloneyの本作はそのユーモアの感覚に溢れた多様多彩な音楽にワクワクさせられる。アイリッシュをベースにした彼のガブリエティに富む音楽と人間味ある音楽は、最高に魅力的。彼のバンジューは良く踊る。w. Shane MacGowan, Joe Brennan, Eileen Gannon, Aiofe Cunningham, etc. 2011作。Darren Maloney)
- \*ROBERT DOYLE:Life In Shadows A  
(ダブリンのフィンガー・スタイルのギター奏者でシンガー、R. Doyleのデビュー作。

Pierre Bensusan の門下生という彼のギター弾き語りは一種独特の世界を創作。Bert&John をモデルとする彼独特な、深いところでアイリッシュ・スピリットがみなぎるフォークギターミュージックの世界を生み出している。2011 作。Robert Doyle Music)

\*DAVY GRAHAM:From Monkhouse To Medway 1963 - 1973 A  
(1963 年の音源からの 5 曲と 1973 年からの音源からの 21 曲の 16 トラック。  
全曲未発表音源。2010 作。Hux)

\*STEVIE DUNNE>About Time B  
(副題“Traditional Musiv On Tenor Banjo”。ピクニック気分の音楽や上品そうでとぼけた感じの音楽やアコパティックなはや弾きで楽しませ躍らせる、かと思えば、今度はスマートな音楽で気分を爽やかにしてくれる。魔法の音楽。2010 作。Stevie Dunne)

\*GORDON GILTRAP:Airwaves (2000 作。La Cooka Ratcha) C

\*GORDON GILTRAP:Captured From A Point In Time B  
(2006 作。トイ Hypertension)

\*DAVID SURETTE:The Green Mandolin A  
(20 年以上ニューイングランドのケルト音楽シーンで活動するマンドリン&ギター奏者のヨ。D. Surette のマンドリン&ギターによるアイリッシュを中心にした彼の演奏は職人技的な美しい演奏で魅了する。ふたつの楽器の音色の特性を生かしきった彼のアイリッシュは親しみやすいリズムやメロディの内にも優美さや気品を宿している。全 13 トラック。2009 作。Madrina Music)

\*JEFF LANG:Half Seas Over A  
(オーストラリア人ギター奏者で SSW の J. Lang の本作はアメリカのフォークやブルースの根源へと一心を傾けた謙虚な傑作。集中力ある細心のギターの絶妙さにも心奪われるが、Jeff の物語を語るような唄の間と空気感が素晴らしい。2008 作。Furry)

\*ALEC STONE SWEET:Tumblin' Gap a  
(オルド・タイムミュージックとアイリッシュのギター演奏。アイリッシュは Planxty や Kevin Burke のレパートリーや“John Ryan's”等だが、アタックの強いクロハンマー・スタイルで弾くギターは強弱が明確で古臭い音楽どころか音楽がキラキラ輝いている。全 16 トラック。2005 作。Solid Air)

\*LUCIO DAMASCELLI:Il Pieno e Il Vuoto C  
(このイタリア人ギター奏者も素晴らしい。感性がやはりヨーロッパ的。気品があって優雅でロマンティック。ヨーロッパ的感性で純度高い華麗なギター音楽の世界を創造している。2006 作。Lucio Damascelli)

\*MARTINS 4 A  
(Martin Carthy, Martin Simpson, Martin Taylor, Juan Martin のそれぞれが個性的ギタリスト達による個性的ギター・ソロとギター饗宴{競演}集。2005 作。P3 Music)

\*DESSIE KELLIHER:Banjoed C  
(多彩なリズム飛び交う楽しいパブソングによるアイリッシュ。様々なダンス曲を驚異の力で楽しませる。w. Mike McGoldrick, Peter Browne, Tony Byrne, Gary O'Brien, Pdraig O Se, Colin Farrell, etc. 2004 作。Dessie Kelliher)

[リイシュー/Historic Recording]

(CD/U. S. A.)

- \*EDDIE MOTTAU:No Turning Around C  
(ボストンのサイケデリック・ロック・バンドの Bo Grumpus のメンバーだった SSW でギタリストの Eddie Mottau の 1973 年の奇跡のデビュー作が CD 再発された。PPM の Paul Stookey がプロデュースを手がけて誕生した本作は、「サイケ」とは真逆な「個人の良心」に立ち返った誠実極まりない唄達で充たされていて、唄が渾身な上に、当時も今もほとんど無名のミュージシャン達のバックアップによる演奏は、信じられないほど一途にダウン・トゥー・アースで、当時の最良のロス産スワンプ風なスワンプっぽいアメリカン・ロックを体現していて、南部系 SSW アルバムとして、充実しきっている。いくらほめちぎっても、ほめちぎり足りない。Bo Grumpus のプロデューサーの Felix Pappalardi が二曲で、ゲスト参加。1973 年/2017 作。紙ヅャク。韓国 Big Pink)
- \*NEIL YOUNG:Bottom Line 1974 B  
(Neil Young の 1974 年の名作“On The Beach”リリース後最初に行ったコンサートのライヴ盤。Neil Young の 70 年代のアルバムは特別なアルバムばかりだが、“On The Beach”は、その「静けさとももの悲しさ」で個人的に特別なアルバム。“On the Beach”収録の 8 曲中 5 曲を含む本ライヴ盤は、全曲ギターの弾き語り効果もあって、“On The Beach”のムードを保った特別なアルバムになっている。面白いのは、観客の過去の名曲への反応の良さに較べて、“On The Beach”にまだ親しんでないためか、“On The Beach”収録曲に反応がさっぱりがないこと。これで良いんです。“On the Beach”の特別な味わいが好きなファンには、Neil Young の“Greensleeves”が聴けるのは、本作だけかも。個人的には“See The Sky About To Rain”もうたって欲しかった。でもこれもやってしまったら、観客は沈んでしまったかも。全 13 曲。1974/2017 作。Gold Fish)
- \*DENNY BROOKS:Denny Brooks C  
(Van Dyke Parks の肝いりでレコード・デビューした Denny Brooks の 1969 年のデビュー作。プロデュースは Daniel Moore。肝いり効果か、Jim Keltner, Sneakey Pete, Carl Radle, Bernie Leadon, Robert Edwards, Dave Jackson, Matthew Moore 他に加え、バックキング・ヴォーカルの Merry Clayton, Clydie King, Gloria Jones 等等、その後の SSW~スワンプ系アルバムで活躍する充実のスタメンがバックアップして制作された本作は、西海岸的なスイート・カントリーなロックとスワンプ風なロックが混在したカントリー・ロック~スワンプ・ブーム前夜の SSW アルバム。当の Denny は当時の西海岸の SSW 的な「青春の光」をまっすぐにうたうシンガーとして、魅力的。唄も音楽も音楽も勢いよく青春してきます。1969 年/2017 作。紙ヅャク。韓国 Big Pink)
- \*KRIS KRISTOFFERSON:The Austin Sessions A  
(1999 年に Atlantic からリリースされた“The Austin Sessions”{収録が始まったのは 1997 年}が二曲の未発表曲を加え、新たな装丁と解説付で発売された。Jackson Browne, Steve Earle, Matraca

Berg, Vince Gill, Alison Krauss, Catie Curtis, Mark Knopfler  
などのゲスト・シンガーとの共演でも話題だが、Steve Bruton,  
Larry Paxton, Mike Baird, John Willis, Jim Cox などの精鋭で固  
めた土臭いルーツロックは、気合い充実の Kris のヴォーカルと絡  
み合っていて圧巻。全 14 曲。1999/2017 作。Rhino)

\*DERROLL ADAMS: Feelin' Fine B  
(英国の Village Thing から 1972 年にリリースされた "Feelin'  
Fine" がベルギーの Best Seller から 1976 年にリリースされた  
"Along The Way" から 6 曲のボーナス曲付で、めでたく CD 再発され  
た。"Feelin' Fine" の共演者は Wizz Jones, Danny Adams, Roland  
Van Campenhout で、"Along The Way" は Maggie Holland, Tucker  
Zimmerman, Youra Marcus, Danny Adams。バンジューを爪弾きなが  
らうたう低く柔らかな唄の数々は、小気味よく弾むバンジューを  
伴って、心にふんわりと残る。全 18 曲。2017 作。Ghost From The  
Basement)

\*DOUG SAHM & HIS BAND: 1973 Live Paul's Mall, Boston MA B  
(Bob Dylan, Dr. John, Flaco Jimenez, David Bromberg, Kenny  
Kosek 等がゲスト参加して制作された "Doug Sahn & Band" {1973  
作} リリースの二ヶ月後に行った FM ラジオ放送用ライブ音源の CD  
化。Sir Douglas Quintet の活動を通じて完成させた Sir Douglas  
流テックスメックス・ロック以前のカントリー、ブルース、テキサ  
ス・スウィングをまぜこぜにしてロックした Doug Sahn らしさプ  
ンブンの泥臭いロック。若き Doug Sahn、すべてが輝いている。1973  
年/2016 作。Rox Vox)

\*THOMAS JEFFERSON KAYE: Thomas Jefferson Kaye C  
(Bob Neuwirth や Gene Clark のプロデューサーでもあった SSW の  
Thomas Jefferson Kaye のファースト・ソロ。元々スワンプ志向の  
音楽性を持つ Thomas がカリフォルニアに移って制作した西海岸  
産スワンプ風ロック。Donald Fagen や Walter Becker や Rick  
Derringer に加えて、女性スワンプ・シンガー隊の Clydie King,  
Venetta Fields 他のもでも起用したロックは、「スワンプ志向」  
で結集していて、完璧。1973 年/2016 作。紙ヅャケ。韓国 Big Pink)

\*ORPHAN: Everyone Lives To Sing C  
(ちよくちよく Jonathan Edwards と共演していた Orphan {Eric  
Lilljequist {ヴォーカル、ギター} と Dean Adrien {ヴォーカル、パーカッション} の  
デュオのバンド} の 1972 年の一枚目。一曲目の "Easy Now" は Aztec  
Two Step、或いは Batdorf & Rodney の清々しいデュエットを想起  
させもするが、人なつっこそうな優しさは当時の Jonathan  
Edwards の唄にも通じるヒューマンな味わい。ゲスト: Jonathan  
Edwards。1972 年/2016 作。紙ヅャケ。韓国 Big Pink)

\*GRAHAM NASH: Songs For Beginners A  
(便宜上 USA にて。名盤。1971 年。Atlantic)

\*RICHARD SUPA: Supa's Jumboree C  
(スワンプの名盤。1971 年/2016 作。紙ヅャケ。韓国 Big Pink)

\*JOHN PRINE: Bottom Line ¥2690  
(二枚組ライブ。1978 年、ニューヨークのボトムラインでのライブ。)

FM ラジオの音源から全 30 曲。“Pink Cadillac”収録のメンバー {John Burns, Howard Levy, Tom Pickarske, Angelo Varias} がバックアップ。1978/2015 作。All Access)

\*LEE CLAYTON: Live At Rockpalast D  
(CD+DVDセット。Lee Clayton Band～Lee Clayton {ヴォーカル、ギター、ハーモニカ}, Philip Donnelly {ギター}, Colin Cameron {ベース}, Tony Newman {ドラムス}～の 1980 年、ドイツのテレビ番組のショー向けスタジオでのライブ。CD は DVD のオーディオ版。全 15 曲。1980/2014 作。Repertoire)

\*JERRY CORBITT: Corbitt C  
(Youngbloods の Jerry Corbitt の 1969 年の一枚目。本作を聴くと Youngbloods のメンバーの中で、最もアメリカン・ルーツ志向のアーティストだったことがわかる。時はサイケデリック・ロック華やかなりし時代、Jerry は時代の潮流に流されず、既に、後の SSW のようにブルースやカントリーに立脚した音楽を、やや荒っぽくはあるが、堂々と体現している。Youngbloods は Jesse Colin Young と Jerry Corbitt の二人組でスタートしたバンドだが、音楽創りは Jerry の手腕によっていたであろうことが、この Jerry の大風呂敷なアメリカン・ルーツロックなアルバムから推測できる。音楽は Jesse とは対象的に泥臭く、パワフルだ。Produced by Charlie Daniels. 1969 年/2015 作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)

\*JESSE WINCHESTER: Seems Like Only Yesterday B  
(副題“Live In Montreal 1976”。FMラジオ収録の Jesse Winchester {1944-2014} の 1976 年のコンサート・ライブ。全 18トラック。J. Winchester の最も充実していた時代のふくよかなライブ。1976/2015 作。Real Gone Music)

\*ROHRBACKER, HENDREN & KINGEN C  
: Rohbacker, Hendren & Kingen  
(1974 年に自主制作で 500 枚発売されたというオレゴンの三人組フォーク・ロック・バンド。これは面白い。Byrds のカントリーな部分を排除したややサイケデリックな時代感覚を持ったフォーク・ロックで、トリオ編成ながら、エレキギター、ドラムス、ベースの組み合わせによるは、軽快にロックしていて快感だし、ソフトで柔和な個性で、SSW としても魅力のある Roy Rohrbaker のヴォーカルと、そしてトリオによるソフトなハーモニーは、中々魅力的。あの時代に米国の北西の端っこで、時代の波を受けて、しこしこ俺たち流の優しいロックを創っていたヒューマンなロック・バンドがいたんだね。Floating House Band を思い出した。1974 年/2014 作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)

\*BILL STAINES: Somebody Blue C  
(1967 年、Bill Staines が二十歳の時にリリースした二枚目。全曲ギターの弾き語り {サント・ギター: Ken Girard} の本作は、この次のアルバムが 1975 年作の“Miles”と言われても、何も疑わない聴き親しんだ Bill Staines の風薫るような唄そのまま。唄は素直で素朴で、曲調は風や水の流れのよう。その昔、“Miles”を聴いた時の感動が蘇った。それにしても昔の二十歳は老けていた…。1967 年/2009 作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)

- \*J. J. CALE:Really(1972 作。カタ Mercury) a
- \*J. J. CALE:Grasshopper(1982 作。カタ Mercury) a
- \*RY COODER:Chicken Skin Music(1976 作。カタ Warner) a
- \*JOHN STEWART:Cannon In The Rain/Wingless Angels C  
(1973 年の“Cannon In The Rain”と 1975 年の“Wingless Angels”の  
2 in 1。Bear Family)
- \*BILL STAINES:The First Million Miles Vol 2 A  
(19 曲収録編集 CD。1998 作。Rounder)
- \*ELVIN BISHOP:Let It Flow(1974 作。PolyGram/Capricorn) B
- \*PETE SEEGER:Rainbow Race B  
(本作は誰もが知るアメリカン・フォーク・ソング - の Pete Seeger の 1973 年のアル  
バム。反戦歌を含む本作は社会派のフォーク・ソング - として、柔軟で力のある唄を聞かせていて、素晴らしい。唄は真っ直ぐに人の心へと向  
かっている。そんな中、ラスト曲“Hobo’s Lullaby”はことのほか心に  
沁みる。伴奏はギターとバンジョーとベース。唄に人を動かす力があつた  
時代の音楽。1973/2014 作。Talking Elephan)
- \*THE BAND:Live At The Academy Of Music 1971 ¥7800  
(副題“The Rock Of Ages Concerts”。4 枚組 CD+DVD のセット。ディスク 1  
とディスク 2 が“Live At The Academy Of Music 1971”の音源からの  
計 29 曲{その内、Bob Dylan との共演が 4 曲}、ディスク 3 とディスク 4 が  
“New Year’s Eve At The Academy Of Music 1971”の音源からの  
計 27 曲{その内、Bob Dylan との共演が 4 曲}。DVD はその中からライブ  
映像 25 曲+“Archival Film Clips - December 30, 1971”から 2 曲。  
19 曲が未発表音源。解説:Robbie Robertson。縦横各約 25センチ、厚み  
1.5センチのハードカバー・ブック型ケース。一家に一セット。2013 作。Capitol)
- \*JOHN SEBASTIAN:Tar Beach D  
(John B. Sebastian の 1992 年のアルバム。Shanachie)
- \*GREG DOUGLASS:Maelstrom B  
(開封。w. Norton Buffalo, Steve Douglass, Nick Gravenites, Doug  
Harman, Peter Rowan。ブックレットにパンチ穴有り。1993 作。Taxim)
- \*ERIK DARLING:Child, Child B  
(開封。カバーコートにパンチ穴有り。2000 作。Wind River)
- \*BOB DYLAN:Folk Singer - Humdinger  
“Just About As Good As It Gets!” C  
(2 枚組 CD。1961~1962 年録音の全 44 曲。数えてみたら、ラジオや教会  
等でのライブ曲が 32 曲収録。Dylan のデビュー時の唄がスタジオ録音とライ  
ヴで楽しめる。2012 作。Smith&Co)
- \*THE BURRITO BROTHERS  
:Back To The Sweetheart Of The Rodeo D  
(2 枚組。1990 作。Appaloosa)
- \*RANDY BURNS AND THE SKY DOG BAND  
:Still On Our Feet a  
(72 年作の再発盤で Randy Burns がライブ会場ですり売りで売っている  
サイン入りスリム・ケースの CD-R。バンド編成の本作は春を迎えた鳥達のように  
潑刺として爽快。最高の一枚。全 12 曲。Wildcat)
- \*RANDY BURNS:Live At Jocko’s a

(1976年のヴァレンタインデーに行われたギター弾き語りライブ。全16曲。自作の3曲に加え、Eric Anderson作2曲“The Girl I Love”と“More Often Than Not”やDavid Blue作やTom Ghent作やTom Paxton作等の時代の唄、加えてトラッドの名曲2曲“Wild Mountain Thyme”と“Oh Shenandoah”等、R. Burnsならではの世界が創出されている。SSWファンの宝物。R. Burnsのサイン入り。音質は通常CDと同レベル。スリム・ケースのCD-R。2011作。WildCat)

- \*RANDY BURNS: The Exit & Gaslight Years 1965-1969 a  
(二枚目“Evening Of The Magician”{68作}から7曲、三枚目“Song For An Uncertain Lady”{70作}から5曲と未発表音源から1曲の計13曲収録編集盤。ひっそりと自分の世界に酔ううつろなR. Burnsの唄の世界。心はあの時代。CD-R。自主制作)
- \*RANDY BURNS: Evening Of The Magician a  
(1968年作で、ホクの心の中では、Eric Andersenの“Blue River”とイメージが重なるSSWアルバムの静かなる名盤。未発表曲1曲を含む11曲。68作。CD-R。ESP)
- \*THE BEST OF RANDY BURNS & THE SKYDOG BAND a  
(70年代初めの“Skydog Band”をバックにしたフォーク・ロック時代のR. Burnsの17曲収録のベスト盤。傷つきそうなくらい感受性豊かで内省的な唄の世界。CD-R。自主制作)
- \*TOWNES VAN ZANDT: Live At McCabe's A  
(1995年McCabe'sのライブ。1996作。Varese Sarabande)
- \*CASEY KELLY: Casey Kelly a  
(C. Kellyの1枚目。バックはLeland Sklar, Russell Kunkell, Craig Doerge。そしてSneaky Pete, Jim Messina, Al Garth等がゲスト。プロデュースは当時PocoのプロデューサーだったRichard Sanford Orshoff。CD-R。It'sAboutMusic.com)
- \*INTERNATIONAL SUBMARINE BAND AND JON CORNEAL  
: Back At Home & Jon Corneal And The Orange Blossom Special a  
(2000年作の再結成ISBの“Back At Home”{ボーナス曲2曲を含む12曲}とISBのJon Cornealと彼のバンドの1974年のアルバムの“2 in 1”。2011作。ドイツSPV)
- \*JANIS JOPLIN: X2 A  
(“Cheap Thrills”, “Pearl”の2枚のアルバムの2枚組セット。2000作。Columbia)
- \*STEVE GILLETT: Steve Gillett ¥2500  
(ケース破損につきケース交換。1967作。Vanguard)
- \*FRANK CHRISTIAN: From My Hand (1995作。Palmetto) ¥2980
- \*VINCE BELL: Phoenix (1994作。Watermelon) ¥2980
- \*BOB DYLAN: The Bootleg Series Vol. 6 “Live 1964” ¥2980  
(1964年ニューヨークのPhilharmonic Hallでの2枚組ライブ。全19曲。内4曲はJoan Baezとのデュエット。問題作“Bringing It All Back Home”発表のちょい前のギター弾き語りライブ。2004作。Columbia)
- \*BOB DYLAN: The Freewheelin' (63作。Columbia) ¥1280
- \*SWAMPWATER: Reunion A



(1979年、再結成時収録された音源からの全14曲。メンバーは Gib Guilbeau, John Beland, Thad Maxwell, Micky McGee。カントリー・ロックの旨みたっぷり。カントリー・ロック・ファン至福保証。本作は Larry Murray に捧げられている。イタリアAkarma)

- \*DELANEY&BONNIE & FRIENDS:On Tour (1970年作。Atco) a
- \*JIM GROCE:Bad, Bad Leroy Brown & Other Favorites a  
(タイトル曲他全10曲。カナダEMI)
- \*THE YOUNGBLOODS:Euphoria 1965-1969(全25曲。99作。Raven) a
- \*GENE CLARK:American Dreamer 1964-1974(92作。Raven) a
- \*LINDA RONSTADT:Don't Cry Now ¥1250  
(1973年作。Produced by Peter Asher。w. Glenn Frey, Buddy Emmons, Herb Pederson, Sneaky Pete Kleinow, Jimmie Fadden 他。73/2010作。Rhino)
- \*ARLO GUTHRIE:Alice's Restaurant (Rising Son) A
- \*JESSE WINCHESTER:Jesse Winchester (70作。Stony Plain) B
- \*WARREN ZEVON:Preludes B  
(Disc1が未発表音源から16曲収録、Disc2が99年のAustin City Limitsスタジオでのライヴ3曲とインディーズ5つを収録の2枚組。2007作。New West)
- \*TOM RUSH:Take A Little Walk With Me A  
(66作。Collectors' Choice)
- \*TIM HARDIN:2 B  
(67年作がオリジナル・アート・ワークの紙ジャケット{デジパック}にてCD再発。誰もが認めるTimのベスト。"If I Were a Carpenter", "Red Balloon", "Lady Came From Baltimore", "Tribute To Hank Williams"他。67/2006作。Lilith)
- \*JAMES TAYLOR:Best Live a  
(“Sweet Baby James”で幕開けし、“That Lonesome Road”のアカペラで幕を閉じる17曲入ライヴ。アコースティックなのからポップなのまで全て彼らしいライヴ。93作。Columbia)
- \*TERRY MELCHER:Terry Melcher (74作。Collector's Choice) A
- \*CHRIS HILLMAN:Slippin' Away (Wounded Bird) A
- \*FIREBALL:Break Of Dawn/Mirror Of The World A  
(最高のカントリー・ロック・バンドの“Break Of Dawn”と“Mirror Of The World”の“2 on 1”。82/83/2004作。Wounded Bird)
- \*THE ELVIN BISHOP GROUP  
:Party Till The Cows Come Home B  
(デビュー作{69作}、“Feel It”{70作}、“Rock My Soul”{72作}の3枚にライヴ音源2曲を含むボーナス曲3曲付計30曲入2枚組CD。69/70/72/2004作。イギリスAcadia)
- \*JEFFERSON AIRPLANE:After Bathing At Baxter's a  
(元Jeffersonグループの私メが欲しくて仕入れ。全て67年録音未発表のボーナス曲4曲付でCD化。67/2003作。BMG)
- \*LEON REDBONE:Red To Blue (87作。August/Rounder) ¥1280
- \*LEON REDBONE:Whistling In The Wind ¥1280  
(88作。August/Rounder)

- \*LEON REDBONE:No Regrets(88 作。August/Rounder) ¥1280
- \*EMMYLOU HARRIS:Luxury Liner ¥1280  
(未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。76/2004 作。Warner)
- \*EMMYLOU HARRIS:Quarter Moon In A Ten Cent Town ¥1280  
(未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。78/2004 作。Warner)
- \*EMMYLOU HARRIS:Blue Kentucky Girl ¥1280  
(未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。79/2004 作。Warner)
- \*DAVE MASON&CASS ELLIOTT ¥1980  
(71 作。ビクター・エンターテインメント)
- \*THE BAND:Stage Fright(リマスター。4 曲ボーナス曲付。EU EMI) ¥1280
- \*THE BAND:Islands(リマスター。2 曲ボーナス曲付。EU EMI) ¥1280
- \*SIR DOUGLAS QUINTET:Is Back A
- \*JACK ELLIOTT:Ramblin' Jack(24 曲入編集 CD。95 作。Topic) A
- \*JOHN PRINE:German Afternoons(Oh Boy) a

**(CD/U. S. A. [国内盤])**

- \*FRED NEIL:Bleecker & Macdougall(Warner) A

**(CD/CANADA)**

- \*JOEY GREGORASH:Tell The People C  
(1973 年発売の二枚目も一枚目同様メンフィスのスタックス。Joey は黒人シンガーのようにうたいたかったのだろう。本作ではソウルフルに熱唱するタイプの唄が目立っていて、唄に熱気が出ている。ただし、彼の唄からは黒っぽさはさほど感じられない。彼のシンガーとしての資質の問題だろう。心は「黒人シンガー」でも生まれた唄は、やや熱唱型のヴォーカル中心の王道的ロック。本作で Neil Young の“Down By The River”を再演している。当時の空気が充満していて、音全体が熱く、そして懐かしい。1973 年/2014 作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)
- \*JOEY GREGORASH:North Country Funk C  
(オリジナル LP は 1971 年にポリグラムから発売されたというカナダの SSW の J. Gregorash の一枚目。録音はメンフィスのスタックス。スタックスだが、スワップの印象は薄い。むしろブルース・ロック〜フォーク・ロックの印象が強い。それでもやはりスタックス印のロックは、骨太で底力がある。Joey の Christopher Kearney くらいがしっと骨太なヴォーカルは、当時としては米国南部音楽の最前線のパワーのあるロックを得て、最高にノリノリ。二曲目で同郷の Neil Young の“Down By The River”をやっている。1971 年/2014 作。紙ジャケット。韓国 Big Pink)
- \*LEONARD COHEN:X2 A  
(“Songs Of Leonard Cohen”, “Songs Of Love And Hate”の 2 枚のアルバム)の 2 枚組セット。2003 作。Columbia)
- \*WILLIE P. BENNETT:Tryin' To Start Out Clean ¥2600  
(1975 作。紙ジャケット。エア・メール・レコーディングス)
- \*WILLIE P. BENNETT:Blackie And The Rodeo King D  
(1978 作。Bnature Music)
- \*RICK DANKO AND RICHARD MANUEL  
:The Late Show - Live At O'Tooles Tavern a

(1985年、12月1日と12月13日のR. Danko&R. Manuelのライヴ。The Bandの哀愁やムズカ味の部分が絞り出された感涙ライヴ。遅ればせの販売。2009作。Voiceprint)

\*RICK DANKO:Live at Uncle Willy's a

(1989年、ニューヨークのUncle Willy's Kingstonでのギター弾き語りライヴ。全12曲。2011作。Floating World)

\*RICK DANKO:Live At The Tin Angel a

(2枚組。全27曲。1999年1月15日、フィラデルフィアのTin AngelでのR. Danko [この年の12月10日他界]のライヴ。享年56歳。2011作。Retro World)

\*RICK DANKO

:At Dylan's Cafe Washington DC December 8, 1987 a

(2枚組。Rick Dankoの何とギターの弾き語りの全43曲。深夜、しみじみと聴くのがいい。2009作。Voiceprint)

\*RAY MATERICK:Life And Times ¥1500

(Ray Materickの70年代の音源からの2枚組編集CD。全24曲収録。SSWファンの宝物。2003作。Linus)

\*JONI MITCHELL:Ladies Of The Canyon a

(リマスター。“Woodstock”, “The Circle Game”を含む12曲。70作。Warner)

\*BRUCE COCKBURN:Sunwheel Dance A

(リマスター。2曲ボーナス・トラック付。71作。True North)

\*BRUCE COCKBURN:Circles In The Stream A

(リマスター。“2 on 1”。全17曲。77作。True North)

\*BRUCE COCKBURN:Big Circumstance A

(リマスター。1曲ボーナス・トラック付。71作。True North)

\*BRUCE COCKBURN:Stealing Fire A

(“Deluxe Edition”。リマスター。2曲ボーナス・トラック付。True North)

\*BRUCE COCKBURN:Further Adventures Of A

(リマスター。1曲ボーナス・トラック。78作。True North)

\*BRUCE COCKBURN:Dancing in the Dragons Jaws A

(リマスター。2曲ボーナス・トラック。79作。True North)

\*BRUCE COCKBURN:The Trouble With Normal A

(リマスター。2曲ボーナス・トラック。83作。True North)

\*BRUCE COCKBURN:Live(リマスター。True North) A

・・・B. Cockburnのリマスターはここまで。リマスターとお書き願います・・・

\*BRUCE COCKBURN:Dart To The Heart(94作。True North) a

\*KATE&ANNA McGARRIGLE:Love Over And Over ¥2090

(w. Jane McGarrigle, Gerry Conway, Pat Donaldson, Alun Davies, Mark Knopfler, Paul Samwell-Smith, etc. 82作。PolyGram)

\*KATE&ANNA McGARRIGLE:Matapedia(96作。Hannibal) A

\*GORDON LIGHTFOOT:Sunday Concert Live ¥950

(69年のトロントでのライヴ。全11曲。EMI)

### (LP/BRITISH FOLK)

\*NICK DRAKE:Five Leaves Left(69作。Island) D

\*NICK DRAKE:Pink Moon(72作。Island) D

## (CD/BRITAIN&IRELAND他)

- \*ALLAN TAYLOR:Behind The Mix C  
(2000年作“Colour To The Moon”の限定ボックス版〔廃盤〕のボーナスCD“Behind The Mix”がCD再発された。録音は2000年。前半の数曲がAllan Taylorのソロで、残りがAllan Taylor&Derroll Adamsのデュオ曲という構成。一曲目の“Nadine”のみ、A. Taylorにしては珍しくロックっぽい曲で、二曲目からはいつものリラックス・ムードのA. Taylorの唄と仲の良いA. Taylor&D. Adamsの唄と思い出話が続く。全体的な印象は、“Colour To The Moon”収録直前に亡くなったDerroll Adams〔1925-2000〕の追悼盤の印象。気心を知った二人の息の合った演唱に驚かされ、心和む。ボーナスCDならではのというか、1974年録音のAlex Campbellのギター弾き語りによるDylanの“When I Paint My Masterpiece”なども収録されている。w. Chris Jones, Grischka Zepf。全15トラック。P22のブックレットでは思い出の写真も拝める。2000年/2017作。Stockfish)
- \*CAROL GRIMES:Warm Blood C  
(Grease Bandっぽい南部ロック・サウンドの一曲目でぶっ飛んだ英国の女性シンガーのCarol Grimesの1974年作。米国ナッシュビルと英国ロンドンで録音された本作は、一曲一曲趣向の異なる大風呂敷な南部ロック〜スワンプ風の女性SSWアルバムといった印象で、泥臭いロックの中、Carolは一曲一曲をシャウトする。同じ1974年に“Insane Asylum”というスワンプ系アルバムでソロ・デビューしたKathi McDonaldを思い出した。w. Ron Cornelius, Kenny Buttrey, Tommy Cogbill, Mac Gayden, Karl Himmel, Jess Roden, Graham Bell 他。Produced by Bob Potter。1974年/2017作。紙ジャケ。韓国Big Pink)
- \*BERT JANSCH:Living In The Shadow ¥6550  
(“The Ornament Tree”〔1990年〕, “When The Circus Comes To Town”〔1995年〕, “Toy Balloon”〔1998年〕に、Bert Janschの個人的なテープから未発表音源からの曲14曲を収録した“Picking Up The Leaves”の四枚組〔すべてリマスター〕。John Renbournとの共演曲二曲〔笑い声も〕を含む“Picking Up The Leaves”は、何とも懐かしいというか、Bert Janschが最も輝いていた頃の音楽ばかりで、Bert Janschスタイルのブリティッシュ・フォークに酔ってしまう。どれもが感涙。ハードカバーCDブック型の豪華な装丁で解説はColin Harper。2016作。Earth)
- \*ARCHIE FISHER:Orfeo A  
(1970年のスコティッシュ・トラッド&フォークの名盤Archie FisherのOrfeo”がCD再発。トラッド曲と自作曲が混在した本作は、スコティッシュ・トラッドの風味香るブリティッシュ・フォークの趣。当時はそのスコティッシュ・トラッドの風味が新鮮だった。彼のシンギングの滋味豊かな味わいは既にこの時代からあった。w. Barbara Dickson, Daryl Runswick, Rab Noakes, Bill Kemp。1970年/2016作。Chariot Music)
- \*BARBARA DICKSON

- :From The Beggars Mantle...Fringed With Gold A  
(1970年/2002作。CD-R版。レコード会社自家製でジャケット品質二流。Phonograph)
- \*BOB PEGG & CAROLE PEGG:He Came From The Mountain C  
(Mr FoxのBob & Carole PeggがMr Foxとは別に71年に発表したブリティッシュ・フォークの名盤。Bob Peggの英国調の品のある節回しが特徴的なヴォーカルとCarole Peggの花のつぼみのような清々しいヴォーカルのバランスというか妙というか綾がが素晴らしい。Produced by Bill Leader。Mike Lavelle, Nick Strutt, Barry Lyons, Pete Wagstaff, etc. 1971年/2016作。紙ジャケット。韓国Big Pink))
- \*PHILLIP GOODHAND-TAIT & THE STORMSVILLE SHAKERS  
:Ricky-Tick...40 Years On C  
(Phillip Goodhand-Tait & the Stormsville Shakers'時代{1965-1966}の10曲。2005作。Span TV)
- \*GOTHIC HORIZON:The Jason Lodge Poetry Book C  
(Andy Desmond&Richard Garrettのデュオ、Gothic Horizonの71年作。夢心地な美しきブリティッシュ・フォーク。田園志向というか、自然が身近で水清く心清い清々しい音楽。2002再発。Hugo-Montes)
- \*HELP YOURSELF:5(2004作。Hux) C
- \*JACK THE LAD:The Old Straight Track(1974/2005作。EMI) D
- \*MICK SOFTLY:Songs For Swingin' Survivors B  
(M. Softlyの65年作の枚目。65/2003作。Hux)
- \*GAY & TERRY WOODS:Backwoods A  
(Gay&Terryの1975年の一枚目。1975年/2002作。Hugo-Montes)
- \*JAKE WALTON:Songs From The Gurdy-man C  
(Jake Walton&Jez Loweの"Two A Roue"{1986年}から6トラックとJake Waltonの"Sunlight And Shade"{1982年}から8トラックの計14トラック収録の編集盤。Wundertute)
- \*RAB NOAKES:Red Pump Special 40th Anniversary Edition B  
(70年代SSWの名盤"Red Pump Special"が本人のレーベルから四曲のボーナストラック付きの全14曲、デジタル・リマスターにて発売。プロデューサーのElliot Mazerは「LindisfarneとRab Noakesのライブを観に行ったら」とこの記念盤のブックレットの思い出話の中で述べている。Tommy Cogbill, Kenneth Buttrey, Weldon Myrick, Teddy Irwin, John Harris等のナッシュビル生え抜きのスタメンに加えて、Memphis Hornsも参加して制作された本作が悪かろう筈がない。ボーナス曲四曲は一曲はリンディスファーンっぽくて、一曲は飄々。残りの二曲は別テイク版。実際飄々とも聞こえる。1973/2013作。Neon)
- \*FAMOUS JUG BAND:0 For Summer B  
(2000年録音のFamus Jug Band再結成盤。全16曲。2001作。Market Square)
- \*LINDIFARNE:Buried Treasures Vol.3 B  
(副題"Rare and unreleased 1969-2000。全17曲。2000作。Siren Music)

- \*NICHOLAS RODNEY DRAKE:Time Has Told Me Volume Two ¥2850  
(Nick Drake のテープ録音等 1967 年 1 曲、1968 年 6 曲、1968 年 9 曲、1974 年 1 曲の全 17トラック。2006 作。Schoolkids)
- \*ERIC CLAPTON:461 Ocean Boulevard (1974 年。Polygram)¥1000
- \*YOUNG TRADITION:Oberlin 1968 A  
(Young Tradition{Peter Bellamy, Royston Wood, Heather Wood} の 1968 年 11 月 17 日、米国の Oberlin College で行われたライブ。イングランドのトラッド・ファンなら冷静には聴けない見事なアカペラによるトラッド・シンキング・アルバム。三人のシンキングは極めてスティック。そのスティックさが音楽的にイングランド的気品を生み、伝統歌の質をピュアに高めている。Peter Bellamy のシンキングのみならず、Royston も Heather もオーラを放つほどに見事なシンキングを高く貫いている。滅茶苦茶素晴らしい。アカペラによるイングランドのトラッド・シンキングの原点であり、一つの理想型。全 25 曲。1968/2013 作。Fledg'ling)
- \*MANDY MORTON BAND:Valley Of Light D  
(棚で発見。Mandy Morton&Spriguns の Mandy Morton の Mandy Morton Band の唯一のアルバム。1983 年作。バンド・メンバーは Simon Wheeler Hunt, Sean Boucousis, Dominic Green, Gaynor Griffith, David Griffith。独自のブリティッシュ・フォークの世界を創作しようという意欲が表出した刺激的ブリティッシュ・フォーク。1983/1995 作。English Garden)
- \*TOM YATES:Love Comes Well Armed A  
(Tom Yates {1944-1993} は David Bowie とロンドンで一緒に、Paul Simon の紹介でアルバムデビューをしたという。本作は 1973 年に President というレーベルから発売された Tom Yates の二枚目。B. J. Cole や Duncan Browne がバックを務めていて、一種独特な浮遊感のある世界は John Martyn の世界にも通じるが、T. Yates の方がフォークっぽい。1973/2013 作。Epona)
- \*SHIRLEY & DOLLY COLLINS:For As Many Will ¥2666  
(Shirley&Dolly の 1978 年作。クリンク・レコードより国内盤発売。解説：船津潔。解説は、「シャーリー&ドリー・コリンズの歩み」、『フォー・アズ・メニー・アズ・ウィル』はシャーリー&ドリーの終着点」そして「曲目について」という構成。78/2012 年。クリク)
- \*MARY JANE:Tacit B  
(70 年代ブリティッシュ・フォークの麗しさを追い求める Mary Jane の 3 枚目はライブ・セッション。Fairport, Steeleye, Trader Horn, Trees のライブ・セッションがお好みの方は必聴。“Matty Globes”そっくりな“Lady Margaret”, “She Moved thro’ the Fair”, “Blackwaterside”ほか全 13 曲。2000 作。Seventh Wave)
- \*IAN A ANDERSON:Time Is Ripe a  
(Village Thingレコード 40 周年を記念して発売された現 fRoots 誌編集長で Village Thing の創設者の Ian の Village Thing 時代の 70 年、71 年、72 年作の三枚から 17 曲と未発表音源からの 3 曲の 20 曲収録編集 CD。Wizz Jones の諸作に匹敵する 70 年代ブリティッシュ・フォーク/ギター・ファンは必聴の名作。w. Hunt&Turner, Mike Cooper, Maggie Holland, etc. 2010 作。Weekend Beatnik)

- \*THE INCREDIBLE STRING BAND:Their First Album B  
(Robin Williamson&Mike Heronによる ISB の 67 年作。デジパック{紙ジャケット}。67/2010 作。Fledg'ling)
- \*JULIE FELIX:Cloth's Web B  
(1972 年作に 6 曲のボーナス曲入の全 18 曲。99 作。Red Fox)
- \*ROBIN WILLIAMSON & HIS MERRY BAND:Journey's Edge B  
(1975 年録音の未発表音源 10トラックを加えた計 21トラックで再発。Merry Band は 1975 年に Robin が憧れのアメリカの町で結成したバンドでメンバーは Sylvia Woods {ハーフ、ハーフシコート、ヴォーカル}, Chris Caswell {ハーフ、フルート、アコ、ヴォーカル}, Jerry McMillan {フィドル、ヴォーカル}。数多くの Robin の諸作の中で最もケルティックで初々しい。2008 作。Fledg'ling)
- \*IAIN MATTHEWS:Orphans & Outcasts Volume 1 - 1969-1979 D  
(副題"A Collection Of Demos"。1991 作。Dirty Linen)
- \*PLAINSONG:Dark Side Of The Room(97 作。ドイツLine) A
- \*TUDOR LODGE:Tudor Lodge B  
(Digipak {紙ジャケット}仕様。71/2007 作。Repertoire)
- \*FORMARY FAT HARRY:Goodbye For Good B  
(副題"The Lost Recordings 1969-72"。Country Joe&The Fish のメンバー奏者だった Bruce Barthol がカリフォルニアから二人の友人を呼び寄せイギリスで結成したブリティッシュ・フォーク・ロック・バンドの未発表音源集。全 12 トラック。P16 のブックレット付。2008 作。Hux)
- \*VASHTI BUNYAN:Some Things Just Stick In Your Mind C  
(ハードカバー特製見開き紙ジャケットで全 25トラック収録の 2 枚組。副題 "Singles and Demos 1964-1967"。1964 年から 67 年収録のシングル盤音源 4 トラックとシングル盤未発表音源 3 トラックと多数の未発表デモテープ音源等からの編集盤。P24 のブックレット付。2007 作。Fatcat)
- \*RALPH McTELL:The Definitive Collection ¥1880  
(R. McTell のシングル盤音源の "Street Of London" を含む 16トラック収録の編集 CD。2007 作。Highpoint)
- \*ROBIN WILLIAMSON:The Island Of The Strong Door ¥1050  
(95 作。Pig's Whisker Music)
- \*DAYLIGHT:Daylight A  
(Mike Silver と Chrissie Quayle がリード・ヴォーカルのブリティッシュ・フォーク・グループ。これほど鮮度の高いフォーク・ロック・バンドは英国にも米国にも見付けるのが難しい。Produced by Tony Cox。71 作。Hugo-Montes)
- \*MCGUINNESS FLINT:The Original B  
(原題 "McGuinness Flint"。デビュー作。70 作。EMI)
- \*LYLE MCGUINNESS BAND:Elise, Elise (97 作。Diamond) C
- \*MARIE LITTLE:Factory Girl B  
(71 年 Argo から発売された M. Little のデビュー作。{LP の場合は} A 面に収録の 6 曲がトラッド調で B 面に収録の 6 曲がフォーク〜ブルース調。70 年代初期のブリティッシュ・トラッドの芳香香る名盤。w. Robin&Barry Dransfield, Smiley, Dave Moses, Billie Page。71/2007 作。Smartweed)
- \*PENTANGLING "The Collection" D  
(Pentangle {17 曲}、John Renbourn {22 曲}、Bert Jansch {22 曲} の計 61 曲入 3 枚組セット。2004 作。Sanctuary)

- \*PENTANGLE:Cruel Sister a  
(リマスター。70/2001 作。Sanctuary)
- \*PENTANGLE:Think Of Tomorrow(91 作。トイ Hypertention) B
- \*JOHN RENBOURN:Ship Of Fools B  
(J. R., Maggie Boyle, Steve Tilston, Tony Roberts の実質的  
J. Renbourn Group の 88 年作。88/2005 作。Sanctuary)
- \*JOHN RENBOURN:John Renbourn a  
(65 年のデビュー作。未発表曲 3 曲入りリマスター。詳細解説  
付。2001 作。Sanctuary)
- \*JOHN RENBOURN:Black Balloon(79/2005 作。Sanctuary) a
- \*JOHN RENBOURN GROUP:Enchanted Garden a  
(80/2005 作。Sanctuary)
- \*JOHN RENBOURN:The Nine Maidens(85/2005 作。Sanctuary) a
- \*PETER KIRTLEY:Peter Kirtley B  
(元 Pentangle のギター&ヴォーカルの P. Kirtley の 92 年のヨ。w. Bert  
Jansch, Liam Genockey, Kenny Cradock, Sally Barker, etc. フォーク  
やジャズの要素もあるカリブなフォーク・ロック。92 作。トイ Hypertension)
- \*PEOPLE ON THE HIGHWAY "A Bert Jansch Encomium" A  
(B. Jansch トリビュート盤 2 枚組。Polly Bolton, Maggie Boyle, Donovan,  
Martin Jenkins, Wizz Jones, Eleanor McEvoy, Ralph McTell, Rab  
Noakes, Kelly Joe Phelps, Chris Smither, Al Stewart, Steve  
Tilston, Brooks Williams and more! 全 26 曲。2000 作。Market  
Square)
- \*BERT JANSCH:Birthday Blues A  
(2 曲ボーナス付。詳細解説付。69/2001 作。Sanctuary)
- \*BERT JANSCH:Moonshine(73 作。Sanctuary) a
- \*BERT JANSCH:The Ornament Tree(90 作。Sanctuary) a
- \*BERT JANSCH:From The Outside a  
(紛失曲 "I Sure Wanna Know" を収録し、新たに CD 再発。93/2001 作。  
Sanctuary)
- \*BERT JANSCH:Live At The 12 Bar(96 作。Sanctuary) a
- \*BERT JANSCH:Downunder a  
(ギターも冴えて Bertらしいギターの弾き語り中心のライヴ。全 15 曲。98 年  
録音。2001 作。Castle Music)
- \*BERT JANSCH:Crimson Moon(2000 作。Sanctuary) a
- \*BERT JANSCH:The River Sessions B  
(74 年 11 月グラスゴーの City Hall でのライヴ。74/2004 作。River)
- \*BERT JANSCH:Dazzling Stranger a  
(アンソロジー-20 曲入編集 2 枚組。2000 作。Sanctuary)
- \*HENRY McCULLOUGH:Cut B  
(1978~83 年の未発表音源集。全 15トラック。87 作。Line)
- \*IAN GOMM:Rock'n'Roll Heart(2001 作。GommSongs) A
- \*CHAS&DAVE:From Tottenham To Tennessee A  
(Chas&Dave と Joe Bangles が選曲した 79 年から 91 年の音源からの 39  
曲収録の 2 枚組。Chas&Dave 独特な二流のセンスが随所に散りばめら  
れた最高のパフ・ロック。これ一枚で彼等のアブラの乗った時代の音楽



- はたっぷり楽しめる。2006 作。Music Club)
- \*CHAS' N' DAVE:Street Party a  
(ノ・ストップ！パブ・ロック・オンパレードの50曲入。2003 作。Pickwick)
  - \*ROD STEWART:Trilogy B  
(“A Night On The Town”, “Tonight I’m Yours”, “Atlantic Crossing”のハートカマー3枚組セット。2006 作。WEA)
  - \*DONOVAN:Greatest Hits Live B  
(1986 年、バンクーバーでのライブ＋ボーナス曲3曲＋未発表音源曲1曲の計18曲。2001 作。Varese Sarabande)
  - \*SALLY' S FRIENDS:Boys Of The Town B  
(アイリッシュ系フォーク・デュオのSally's Friend～Chris Ward [ヴォーカル、ギター]とPete Onions [ヴォーカル、マンドリン、ギター]の79年作。Chris&Peteのシンギングは70年代ブリティッシュ・フォークの香りが高く、きりっとして温か。Kissing Spell)
  - \*STONE ANGEL:East Of The Sun B  
(ブリティッシュ・フォーク・ロックの名盤。2001 作。Kissing Spell)
  - \*STONE ANGEL:Lonely Waters B  
(ブリティッシュ・フォーク・ロックの名盤。2004 作。Kissing Spell)
  - \*JAN DUKES DE GREY:Mice And Rats In The Loft A  
(Jan Dukesの71作。71/2004 作。Breathless)
  - \*DAVE WAITE&MARIANNE SEGAL:Paper Flowers C  
(伝説のフォーク・ロック・バンドのDave&MarianneがJade結成前時代に活動していた時代の未発表曲集。録音は全22曲入。1967～70年。P12のブックレット付。2004 作。Lightning Tree)
  - \*CAT STEVENS:Matthew&Son a  
(CDでは未発表のボーナス曲8曲付の計22曲入。67/2003 作。Deram)
  - \*CAT STEVENS:Tea For The Tillerman a  
(“Wild World”, “Father And Sun”を含む全11曲。70 作。Universal Island)
  - \*JEFF BECK:Blow By Blow/Wired(2CDセット。Sony) C
  - \*KILBURN AND THE HIGH-ROADS:Handsome A  
(ご存知Ian Duryが在籍したパブ・ロック・バンドの75年作が3曲の未発表音源ボーナス曲入りでCD復刻。全18曲。諧謔的センスと職人ワザ的ロック・ロール魂と魔法仕掛けのセンスのあるロックは「パブ・ロック」の範疇を飛び出している。これは大衆娯楽ロックだ。Chas&Daveも真っ青。75/99/2004 作。Dawn/Castle)
  - \*FOOTPRINTS IN THE SNOW A  
(副題“An Anthology Of The British Singer・Songwriter Genre 1965-1974”。44曲収録2枚組。Donovan, Bert Jansch, Owen Hand, Billy Nicholls, Ralph McTell, Billy Connolly, Alan Hull, Shelagh McDonald, Gerry Rafferty, Steve Tilston, Richard Digance, Dave Cartwright, Alan Price and more。2004 作。Sanctuary)
  - \*TREES:The Garden Of Jane Delawney A  
(70年代ブリティッシュ・フォークの名盤。70 作。Rewind/Columbia)
  - \*AL STEWART:Orange(72 作。ミレニアム特別仕様。Columbia) A

- \*FROGMORTON:At Last D  
 (幻のアルバムCD復刻。FrogmortonはYoung Traditionからの影響大の紅一点のLucy Sharpeを含む7人組トラッド・グループ。Young Tradition風ガール・ハーモニーを核に青春フォークからLindisfarne 的庶民フォーク・ロク的なものまで幅広い「フォーク」を展開する。76作。2002再発。Elegy)
- \*CHRIS THOMPSON:Chris Thompson B  
 (73年作が3曲のボーナス付で、CD復刻。ニューズ・ランド人だがここで。理想のギター弾き語りの70年代ブリティッシュ・フォーク。2001作。Scenescof)
- \*MICK GREENWOOD:Midnight Dreamer A  
 (74年の3枚目。w. Pat Donaldson, Gerry Conway, William a Murray, Barry de Souza。Voiceprint)
- \*DULCIMER:When A Child C  
 (純真無垢で英国趣味な最良の70年代ブリティッシュ・フォークの芳香いっぱいPeter Hodge&David EavesのDulcimerの93年作。夢見気分保証。不老のDulcimer。ブリティッシュ・フォーク・ファンの宝物。93作。President)
- \*SYNANTHESIA:Synanthesia D  
 (Dennis Homes, Jimmy Fraser, Leslie Cookの三人組ブリティッシュ・フォーク・グループ。アコースティック・ギターやフルートやオーボエやヴィブラフォンの浮遊感のある不思議なサウンド、そして夢見心地なヴォーカル。Donovanっぽさを感じるSeptember Production産ブリティッシュ・フォークの名盤。1969作。1990年再発。Elegy)